

奈良市長 仲川 げん 様

平城西中学校区における

防災拠点としての新しい学校への要望書

平成 33 年 4 月開校予定の平城西中学校区の施設一体型小中一貫校には、地域の防災拠点、避難所として次のような機能を備えていただきますよう要望致します。

- 1 災害対応型太陽光発電システムの設置
太陽光発電と蓄電器をセットとし、災害時に通常電力が遮断された場合にも最低限の電力需要を賄えるようにしておく。
平常時は、クリーン電力として利用。
- 2 電源分電盤の設置
体育館外に設置、仮設トイレ周辺個所に設置、仮設台所・食事箇所周辺に設置この分電盤には電柱からの電気がくるとともに、発電機からも電気が供給できるものとする
- 3 照明設備の設置
2項に記載した箇所付近に照明設備の設置
- 4 配線についての配慮
避難所として利用する場合に、通常では使用しないケーブル配線が必要となる。それらが露出しないような工夫(例えば床や壁面に蓋つきの溝を設置しておく)
- 5 十分な数のマンホールトイレの設置
国土交通省からマンホールトイレ整備概要とガイドラインが発行されたので、それに準拠した数の確保。
最初から体育館のトイレだけは下水管に直結するポットン便所(汲み取り式ではありません)にしておくことで、そもそもマンホールトイレの設置数を抑えることは想定できないものでしょうかとの意見もあった。難点は、臭いが出ること。
- 6 飲料用水槽の設置
避難者数×一人当たり2ℓ(2ℓが良いかどうかは要検討)の容量を持つ飲料用水槽の設置。当然毎年水槽の水の入れ替えが必要となる。
- 7 防災用井戸の設置
避難所における飲料水以外の水(例えばトイレ、洗濯など)を確保しておくために井戸が有効であるとして各地で設置が進んでいる。

以上、平成 31 年度神功地区自治連合会、神功地区自主防災・防犯協議会合同代議員総会決議を経て要望致します。

2019(平成 31)年 4 月 14 日

神功地区自治連合会、神功地区自主防災防犯協議会